

## 平成26年度第8回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成26年10月22日（水） 午前10時  
場 所 市立図書館 第2会議室

### <委員長あいさつ>

先週の15日、津山小学校の公開研究発表会で、1年生から6年生までの授業を見てきました。子どもたち一人一人が生き生きとしていたこと、頭だけ使っているのではなく、身体全体を使って主体的に参加していると感じました。これは、日常の先生方一人一人の努力とともに、学校を挙げて目標を持って、それを実現しようとする組織的な取り組みが子どもたちを少しずつ変えていった成果なのではないかと感じました。改めて、本市教育委員会が一生懸命になって授業改善や質の高い授業に取り組んできた成果が出てきているものと認識したところです。授業は教育の生命線ですので、今後ともいい企画、いい指導を続けていただきたいと思います。

### <議 事 >

議第22号 平成26年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞について

<可決する>

#### 審議経過

委員長：第三中学校から内申があった生徒は女性ですか。

事務局：第三中学校から内申のあった生徒は女性です。他の3人の生徒は男性です。

委員長：小学校の内申者が0人となっているが、宮城浩蔵賞は中学生を対象としているのではないのですか。

事務局：小中学校優秀児童生徒褒賞要綱となっていることから記載しましたが、今後、宮城浩蔵賞のみの褒賞内申の場合は削除したいと思います。

議第23号 東南村山地区視聴覚教育協議会の廃止について

<可決する>

#### 審議経過

委員：視聴覚教材とあるが、実際どのようなものがあるのか。負担金分配割合に応じて、どんなものがどのくらいくるのですか。

事務局：小中学校で使われるような教育教材のほか、教育的なアニメーションビデオがあります。また、公民館や幼稚園での16ミリ映写機を使った映画鑑賞会用のアニメーションもあります。

機材としては、DVD映写機、16ミリ映写機、スライドプロジェ

クターなどがあります。

負担割合ですが、470万円のうち105万円を負担しています。約4割の負担ですので、DVD等が150本ほど分配されます。分配されるDVD等につきましては、市立図書館に配置し、視聴覚ライブラリーとして貸し出すことにしています。

委員長：東南村山地区5市町での事前合意を得て、他の市町でも教育委員会で審議するように進んでいるのですか。

事務局：協議会の廃止につきましては、各市町の首長と教育長が委員となっている視聴覚教育委員会の中で、今年5月に廃止の決定方針を決めていただきました。11月には最終的に廃止の決定をすることになっています。そうしたことから、各市町が12月定例会の議案として提案様式整えて共同提案することになっています。

また、自治法に基づく協議会であるため、平成24年度から県との調整を行ってきており、同意をいただいています。

なお、県内には7つの視聴覚教育ライブラリー協議会がありますが、庄内が平成25年度で、西村山が平成26年度で廃止となっています。県の協議会も平成26年度で廃止されることになっています。今後は、それぞれの市町独自で視聴覚教育を行っていくという方針です。

委員長：設立して半世紀が経ち、その間に視聴覚教育の環境も大きく変わってきている。ある意味仕方がないのかもしれない。

#### 議題24号 平成26年度教育委員会感謝状贈呈について

<可決する>

##### 審議経過

委員：干布小学校から内申のあった団体は、地域の大人で構成されているものですか。

事務局：大人だけのボランティア団体です。

委員長：どこの学校に行っても、地域との結びつきが太く大変いいことである。さらに広げていただきたい。

委員長：委員の皆さんから何かありませんか。

無いようですので、第8回教育委員会会議を終了します。